



ひるば

vol. 96

川柳

縄

縄跳びを 負けるものかと 孫と飛び
 日だまりに 縄なう老夫の しわ深く
 縄電車 希望を抱いた 駅がある
 縄のれん 昭和の映画 想いだす
 縄編んで 草履作った 幼児期に
 縄のれん くぐれば上下 忘れられ
 縄編みの セーター着たし 見つからず
 信長の 才たるゆえん 火縄銃
 目に紅葉 入れて縄吊橋を 渡り行く
 縄のれん くぐれば笑顔 温かんで
 読者より
 吉野路に 霜冴ゆ初冬の 紅葉かな
 冬田水 溜まりて深き 車輪跡

政子 育枝 千里 皿井 初音 よしか 一太 厚彦 和夫 久子 金子 晴男

一月の行事予定

元旦(金) 一〇時 祝賀会
 六日(水) 一四時 まどかグループ
 八日(金) 一四時 川柳「凧」
 九日(土) 一〇時三十分 沖田神社初詣
 一二日(火) 一四時 介護教室
 一五日(金) 九時 写真クラブ
 一六日(土) 一四時 初釜
 一七日(日) 九時 散髪
 一九日(火) 一四時 お花
 二六日(火) 九時五十分 買い物
 二八日(木) 一一時 食事会(寿司)

* 一六日の初釜は和室でいたします。
 椅子を用意しますので皆さんご参加下さい。

かんぱーい!

H. 21. 12. 24



おいしかった!
たのしかった!
わらった!



ひととき

施設長 中島 聖恵

『ホッコラホッコラ、本物の森作り』(その一)

新年明けましておめでとうございます。
 二千年元旦 皆様お健やかに新しい年をお迎える事と存じます。ロータス桑野も今年末に十歳となります。これも入居の皆様を筆頭にロータス桑野に関わりを持って下さいます多くの方々、地域の皆様のご支援の賜物と、心より深く感謝申し上げます。今後とも一層のご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

「千年の森をつくろう」と人呼んで植樹の神様、植物生態学者の宮脇 昭先生が山陽病院にご来駕下さいました。皆様は既にテレビや新聞紙上でよくご存知と思いますが、先生は、世界三十六カ国で植樹を進めておられて、御年八十一歳、年齢を感じさせない迫力、先生の口からはとばしる本物の森作りについて語られる一言一言は、地球を、人類を、命を守る事のみ注がれており、その使命感が、私たちを感動と感銘の渦に巻き込み、私たちの心を魅了して、完全に「ホッコラ、ホッコラ、本物の森づくり」へと駆り立てて止まないものです。通常は二百年かかると言われる森作りが、先生の自然潜在植生というその土地に本来自生している「ふるさとの緑」、鎮守の森に象徴される木を植える事によって、たった二十年で森が出来るのです。

今年、良友会は、新病院の建設を行ないません。山陽病院が三十年たつて、老朽化したので建て替えま

す。それはどんな病院なのでしょう。室内が広く、個室も多くて、居心地の良い癒しの空間。ゆったりとして心が伸び伸びと和む、森に囲まれた病院。理事長が子供の頃おじいさんと一緒に山へ薪を取りに行ったときに味わった森の中に身を置く気持ちよさ、人の心を包み込み癒してくれるそういう環境の病院を作りたいたいという熱い思いで、岡山県出身でいらつしやる植物生態学者の宮脇 昭先生にお手紙を差し上げたところ、「本物の森を作りたい」という気持ちに込めて下さったのです。

地球を覆っていた緑の森が消えて砂漠化し、進化の頂点に立つ人間が、生きる環境を自分で自分自身を住めない状態にしていることに、先生は、私たちの愛する人、子供、孫、子孫が、私たち日本人が、人類が、この限られた地球で間違いなく生き延びる為に、「千年の森づくり」の植樹を各地で進めておられるのです。石でもコンクリートでも人の頭より小さく砕けば何でも混ぜて、土を一メートルほど移植してがスツと入るようにホッコラ、ホッコラ状態の土にするのです。そのホッコラの土に、好きな苗木だけを植えないこと。自然の森の掟に従って色々な種類の苗木を混ぜて混ぜて、競走しながら、少し我慢をして共に生きる。このようにして植えられた苗木は、三年たつたら管理が要らなくなるのだそうです。私は土も木も本物の先生によって本物の森になっていく事にすっかり心を奪われてしまいました。そして今年には全て本物を目指していく事を抱負とします。

